

【 診療科:乳腺外科 】

【 レジメン登録番号:SB-45 】

〈 Pembrolizumab+PTX+CBDCA療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21			
キイトルーダ	200mg/body	div	○														
パクリタキセル	80mg/m ²	div	○						○					○			
カルボプラチン	AUC:5	div	○														

【1コース期間: 21 日】

【総コース数: 4コース^{*1}】

【適応癌種: 乳癌(TNBC)】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	キイトルーダ 200mg/body	div(30分) ^{*4}
	生理食塩水 100mL ^{*2}	
Rp.2	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.3	ポラミン 5mg	div(全開で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.4	デキサート 6.6mg ^{*3}	div(30分)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	H2 blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.5	パクリタキセル 80mg/m ²	div(60分) ^{*4}
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.6	カルボプラチン (AUC:5) × (GFR+25)	div(60分)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.7	生理食塩水 50mL	div(全開で)

<day8.15>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ポラミン 5mg	div(全開で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.2	デキサート 3.3mg	div(30分)
	H2 blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	パクリタキセル 80mg/m ²	div(60分) ^{*4}
	5%ブドウ糖液 250mL	

【参考文献: N Engl J Med.2022;386:556-67. キイトルーダ点滴静注添付文書】

【備考:①※4コース終了後、Pembrolizumab+EC療法へ移行する。】

【備考:②※最終濃度が1~10mg/mLとなるように調製すること。】

【備考:③※アプレピタント使用しない場合は、デキサートの投与量を13.2mg/回へ倍量にする。】

【備考:④※インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を用いて投与すること。】